

【B】ゾーニングとゾーンごとの方針

上板橋二丁目

約70年前の土地区画整理事業により、道路や公園等の基盤が整備されています。

駅前

駅前広場が整備され、まちの玄関となる、にぎわいと交流の場が創造されます。

上板橋一丁目

道路が狭く、木造建物が密集しています。災害への危機意識が高い地域です。

現状を踏まえて、ゾーンごとに方針を整理し、今後のルール作りを考えます



皆さんのご意見を、お寄せください！！

インターネットでの回答の方

右記の二次元コードを読み取っていただくか、
<https://logoform.jp/f/rvUWL> からご回答ください。



紙での回答の方

ニュースと一緒にお配りしている「設問用紙」をご利用ください。

お問い合わせ先

板橋区 まちづくり推進室 地区整備課 上板橋駅南口係

住所：〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号
電話：03-3579-2556 FAX:03-3579-5437
Eメール:m-kmachi@city.itabashi.tokyo.jp

上板橋
駅南口
周辺地区

まちづくりニュース

第2号

板橋区 まちづくり推進室 地区整備課 上板橋駅南口係

令和6年12月

駅前の大きな変化が始まった今、皆さんと**まちの将来像**を描き、その実現をめざします。ぜひ、**ご意見**をお聞かせください！

STEP1（現在）

まちの課題や資源を共有し、将来像を描く



STEP2

実現する方法を考える



STEP3

次の世代につながるまちへ



めざす都市像 = 「多様性が活きる 新たな公園都市」

都市を緑でつなぐ うるおいと活気あるまちづくり

緑が身近にあり潤いを感じる



にぎわう商店街で買い物や食を楽しめる



多世代が交わり暮らし続けられる



ライフスタイルのイメージ

スポーツや健康づくりに取り組める



図書館や教育施設で学びを得られる



実現に向けた 具体化な取組へ

【A】6つの顔づくりプロジェクト

⇒見開き面へ

【B】ゾーニングとゾーンごとの方針

⇒最終面へ

【A】 6つの顔づくりプロジェクト



③ 安心して買い物を楽しめる「賑わいプロムナードづくり」



商店街の活性化を図り、ヒューマンスケールの親しみやすい賑わいプロムナードを形成



七夕大縁日でにぎわう上板南口銀座商店街



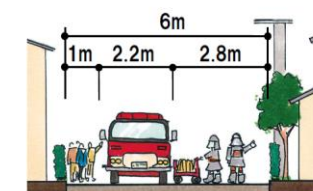
商店街のにぎわい・ルール検討

④ 火災や災害に備える「防災みちづくり」

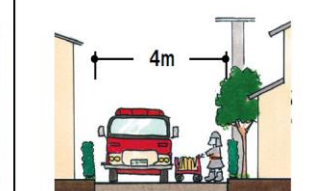


防災性や利便性の向上をめざす、主要生活道路(空間幅員6m)や避難経路となる道路空間を整備

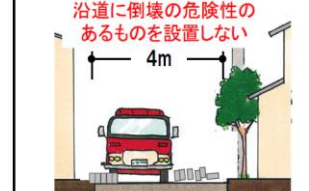
幅員6m以上だと、消防活動のスペースが確保できる



幅員4m程度で、道路に障害物がなければ消防車等が進入可能



幅員4mで、道路に障害物や倒壊危険物があると、進入は困難



道路幅員による防災性能

① 多様な機能を持つ「新たな駅前広場づくり」



上板橋駅南口地区の顔となり、新たな公園都市の入口となる「降りてみたくなるまちの駅前広場」を整備

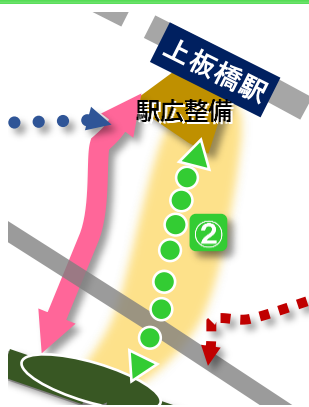


駅のホームから見える整備後の駅前広場

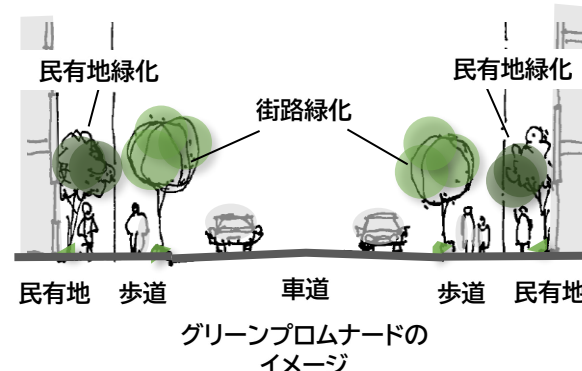


緑の空間で憩える駅前広場

② 公園都市の骨格軸となる「グリーンプロムナードづくり」



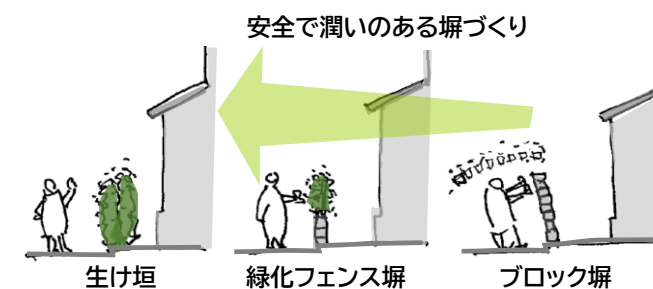
上板橋駅や駅前広場を起点に城北中央公園等の周辺施設をネットワークする緑豊かな街路空間を整備(グリーンプロムナード)



⑤ 豊かな住環境をつくる「潤いのあるみちづくり」



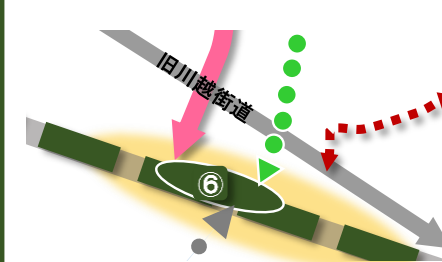
生活道路沿いの壁面の位置の制限(ゆとりづくり)と安全で潤いのある塀づくり、住宅地にふさわしい街並みや色彩、意匠等のルールづくり



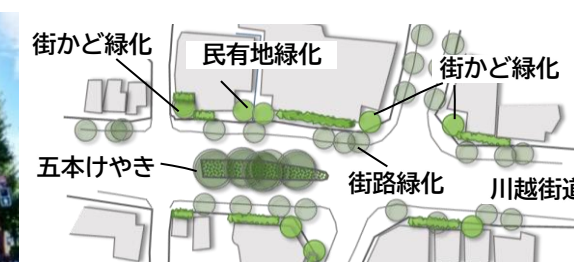
緑豊かな生活道路

⑥ 五本けやきを活かす「緑のシンボルづくり」

グリーンプロムナード、賑わいプロムナードと交差する川越街道において、歴史的な名残(五本けやき)を活かした、国道からのゲートとなる緑のシンボルを形成



五本けやき



緑化イメージ